

学生の反応

実施する前の懸念

- ◎ 1年次生の春学期配当科目で、いきなりICTをフル活用する講義はどうだろうか？
- ◎ 基本的に講義中にパソコンを開いてレポート用のメモを取ることや、スマートフォンで資料や小テストにアクセスすることを奨励した。学生は対応できるだろうか？

肯定的な点

- ◎ いかにも電気電子情報工学科の授業という感じで新鮮
- ◎ 講義終業後の昼休みに、その場でスマートフォンを使って小テストに取り組む学生が多く、中には、教室に残ってお弁当を食べながらパソコンでレポート作成に取りかかる受講生もあり、殆どの学生は関大LMSをうまく活用して学習に取り組んでいる。

改善点 from ITセンター

- ◎ 自宅にパソコンが無いと辛いと感じる学生がいた → ICT環境のより一層の構築に努めます
- ◎ 作成したレポートのWordファイルがアップロードできないなど、受講生のPC環境によると思われるトラブルが少数ながら存在し、対応に多少苦慮した。 → 現在、トラブルはメールでサポートしていますので、ぜひ活用をお願いします。
✉ kulms@ml.kandai.jp

「テスト・レポート機能」のワンポイントアドバイス

テスト

[採点・結果表示]内にある[回答の見直しを許可]を[しない]に設定した場合、テスト・レポートを実行するたびに回答が新規作成されます。また、[する]に設定した場合は、最後に提出した回答が保存(上書き保存)されるようになっています。

レポート

[レポート]の場合、[回答の見直しを許可]は自動的に[する]になっていますが、過去の提出レポートを保存したい場合は[しない]に変更すれば保存できます。

今回は、アンケート機能を用いて実現した双方向授業を紹介します。



関西大学 教育開発支援センター

関西大学 ITセンター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

発行日/2018年12月1日 編集・発行/教育開発支援センター・関西大学 ITセンター

講義で活用するための

関大LMSあれこれ

第4回

時間外学習の小テストとレポート作成で講義の理解度を深めよう

[担当教員]徳丸正孝(関西大学 システム理工学部 教授)

[科目]コンピュータシステム序論

今回の3つのPoint

- 👉 レポート・小テストを実施することで、紙媒体では難しい、学生の理解度に応じて授業を進めることが可能
- 👉 授業時間外における学生の自主学習機会の提供
- 👉 教員が考える以上に学生はパソコン・スマートフォンを活用でき、気軽に実施

授業概要

- 対象** システム理工学部電気電子情報工学科で開講されている1年次生向けの講義科目
- 人数** 202名、2クラスに分けて開講される大人数講義。
- 内容** コンピュータのハードウェアとソフトウェアの動作原理
データベースやスプレッドシートなどの代表的なアプリケーション・ソフトウェアの仕組み
インターネットによるマルチメディア情報通信の仕組みや情報セキュリティなど

関大LMSでできること

出席管理



資料公開



テスト・レポート



様々な形式のテスト・レポートを簡単に作れます。期限設定などの多くの機能も搭載。類似レポート検索やレポート返却も可能。

アンケート



協働学習
(会議室)



メンバー管理
・成績管理



問題意識

講義・演習を進める上での問題点

1

学生の理解度がさまざま

コンピュータやインターネットに関連する様々な技術を網羅的に紹介する講義であり、1回の講義で3個のトピックを取り上げて解説するため、学生側からすれば相当にハード。



講義・演習を進める上での問題点

2

レポートの細かなチェックや共有が難しい

毎週、紙媒体レポートを提出してもらうことで学生の理解度を確認していたのですが、200名を超える受講生のレポートそれぞれに対して手書きでコメント等を記入して返却するのは難しく、受講生全体で指摘内容を共有することもできない。



関大LMSを利用してよかったところ

レポート

レポート課題を毎回出題し、次回の講義の開始までに関大LMS上に提出してもらうことで、受講生の時間外学習が促進された。

レポートに400~600文字という文字数制限を設けることで、指定文字数で文章を作成する訓練ができた。

レポートに対する講評を関大LMSの資料として登録し、多くの受講生が誤解している箇所や、理解が不足している箇所の補足説明などを全体で共有することができた。

資料に対する各受講生のアクセス回数から受講生の復習回数も確認できた。



小テスト

スマートフォンでいつでも実施できるように、すべて選択式問題。

毎回の講義の内容に関するテストを4~5問用意。

アクセスの期間や回数に制限を設けずに受講生が自由に取り組める。

ここがPoint

講義終了後から次回の講義の開始までで実施期間を制限したところ、多くの受講生から

復習のために、いつでもアクセスできるようにしてほしい

との要望が多数あった。



効果 時間外学習の機会は確実に増えたと実感している



レポート・アンケート機能への期待

1

個々の学生に応じた理解度の細かなチェック



2

スマートフォン対応なので、手軽に講義内容の復習や自主的な時間外学習が可能。



3

集計機能で大人数でも返却が可能、全体での共有も可能。

